

第40回

清々しく、雄々しい その姿が心に残る 大いなる山

もう、10年以上前だろうか？網走から知床に向かう途中、斜里岳の麓のカフェでコーヒーを飲んだ。そのカフェの目の前には斜里岳が広がっていて、その雄大で美しい姿が今でも目に焼き付いている。

思うに私は山の姿を見るのがとても好きなのではないか？ということに今更ながら気がつく。山に登るよりも山の風景を見るのが好きらしい。山の成り立ちのようなものに惹かれてはいるのか？時々見るTV番組プラタモリがいつも興味深い話題なので、きっと「どうしてこうなった、どんな事象じしやうがあってそのようになってきたのか？」が面白いのだと思う。

当たり前が存在しているような山もその形にたどり着くまで、壮大な時間の中でさまざまな事象が山の形になっていく。平地も川も森も同じように時間を費やして存在しているが、これらは人の手でどんどん変えられていってしまう。昔から小さな山や丘は削られて平地になったりもしているが、大きな山はその形を今はとどめている。もう人は美しい自然を残すことを考え、自分達もその自然の一部であると思い、その自然の恵みがどこから来るのか知るべきと思う今日この頃。

ちなみに斜里岳は成層火山で活動期間が約25万年前らしい。アイヌ語でオンネヌプリ=年老いた大いなる山と呼ばれ、日本百名山の一つだ。麓のカフェはすでに閉店していて、美味しいおいしいコーヒーを飲みながら眺めることはできないのが少し残念だが、機会があればまたその姿を見つめにいきたい。この号は12月、来たる新年が良い年になりますように。





すずき もも

イラストレーター・絵本作家／スローフードさっぽろ事務局長

東京生まれ、北海道夕張育ち。広告や雑誌、カレンダーなどのイラストを描くほか、イラストで綴る町案内の本や絵本などを執筆。ほか、「スローフードさっぽろ」を2016年に立ち上げ、食を中心に環境や暮らしの大事に取り組んでいる。著書に絵本「はるとなつ はたけのごちそうなーんだ？」（アリス館）「おいしい大地、北海道」（イースト・プレス）がある。近著に絵本「はたけのごちそうなーんだ？くだもの」（アリス館）がある。モットーは4つのS。「Simple, Slow, Small, Smile: さざやかに、ゆっくり、ほどほどに、にこにこ」。